

【2018年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2017年9月期		17年3月期	16年9月期	
			17/3期比			16/9期比
新契約年換算保険料	(百万円)	7,980	—	100.8%増	7,252	3,973
うち第三分野	(百万円)	91	—	318.1%増	82	21
保有契約年換算保険料	(百万円)	115,905	1.6%増	0.1%減	114,077	115,991
うち第三分野	(百万円)	2,596	0.9%減	3.6%減	2,620	2,694
保険料等収入	(百万円)	98,250	—	138.8%増	80,918	41,138
うち個人保険分野	(百万円)	97,905	—	150.3%増	78,603	39,115
うち団体保険分野	(百万円)	67	—	0.5%減	133	67
保有契約高	(百万円)	1,992,648	6.0%増	10.4%増	1,879,380	1,804,799
解約・失効年換算保険料	(百万円)	1,597	—	20.7%増	2,807	1,323
解約・失効率	(%)	1.40	—	0.27ポイント上昇	2.40	1.13

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険であります。

※17/3期比、16/9期比は増減率（解約・失効率は増減ポイント）であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額であります（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しております。

※解約・失効率は年換算保険料建ベース（2017年9月期、16年9月期の解約・失効率は年換算前）であります。

②資産の状況等

		2017年9月末		17年3月末	16年9月末	
			17/3末比			16/9末比
総資産	(百万円)	1,364,374	3.9%増	2.6%増	1,313,747	1,329,951
実質純資産額	(百万円)	184,896	1.7%減	21.8%減	188,005	236,295
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	14.1	1.0ポイント低下	4.9ポイント低下	15.1	19.0
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,301.0	5.4ポイント上昇	138.4ポイント低下	1,295.6	1,439.4

※17/3末比、16/9末比は増減率（実質純資産額／一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント）であります。

③基礎利益・順ざや／逆ざや

		2017年9月期		17年3月期	16年9月期
			17/3期比		
基礎利益	(百万円)	△ 524	—	843	12,221

※16/9期比は増減率であります。

		2018年3月期の予想	2017年3月期の実額
順ざや額(△逆ざや額)	(百万円)	△ 2,000	△ 2,911

④準備金

		2017年9月末		17年3月末	16年9月末	
			17/3末比			16/9末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,246,832	48,266増	41,866増	1,198,565	1,204,966
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,192,644	59,050増	72,533増	1,133,594	1,120,110
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	54,187	10,783減	30,667減	64,970	84,855
価格変動準備金	(百万円)	1,403	195増	380増	1,207	1,022
危険準備金	(百万円)	15,234	163減	1,609減	15,398	16,844
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	1,618	80減	248減	1,699	1,866
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	10,190	647増	743増	9,543	9,447
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	3,225	721減	2,101減	3,946	5,326
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	199	9減	3減	209	203
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—	—

※17/3末比、16/9末比は増減実額であります。

⑤含み損益

		2017年9月末			17年3月末	16年9月末
			17/3末比	16/9末比		
有価証券	(百万円)	93,984	3,905減	50,194減	97,889	144,179
うち国内株式	(百万円)	—	—	—	—	—
うち国内債券	(百万円)	64,504	2,425減	25,430減	66,929	89,934
うち外国証券	(百万円)	170	5増	2,146減	164	2,317
うちその他の証券	(百万円)	532	233増	532増	299	—
うち金銭の信託	(百万円)	28,776	1,718減	23,150減	30,495	51,927
不動産	(百万円)	—	—	—	—	—

※17/3末比、16/9末比は増減実額であります。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	22減	保険商品の特性に合わせた運用（ALM）を原則としており、金融環境の変動に影響を受けにくいポートフォリオを構築してまいります。具体的には、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチングを主体とした運用を金銭の信託等を活用して行ってまいります。
国内債券	(百万円)	34,413減	
外国株式等	(百万円)	—	
外国債券	(百万円)	72,093増	
不動産	(百万円)	—	

※上期実績は資金異動ベースでの増減額を記載しております。

※国内債券及び外国債券は、金銭の信託の設定・解約に伴う資金異動額を含めております。

※不動産は、建物付属設備を除いております。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2017年9月末時点
国内株式（日経平均）	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式（TOPIX）	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	0.9程度
外国証券	(円)	—

※国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数点第1位まで算出しております。

※外国証券は為替変動に基づく換算差額を為替差損益として処理しているため、算出しておりません。

⑧2018年3月期の業績見通し

		2018年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	200,000
基礎利益	(百万円)	△ 2,000
保有契約高	(百万円)	2,060,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	120,000

⑨職員数

		2017年9月末			17年3月末	16年9月末
			17/3末比	16/9末比		
営業職員	(人)	—	—	—	—	—
内勤職員	(人)	241	0.8%増	3.4%増	239	233

※17/3末比、16/9末比は増減率であります。

⑩銀行窓販の状況

			2017年9月期		17年3月期	16年9月期
				16/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※変額年金保険及び定額年金保険の販売は休止しております。

			2017年9月期		17年3月期	16年9月期
				16/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	12,901	207.8%増	8,948	4,192
	金額(収入保険料)	(百万円)	91,493	192.4%増	65,442	31,289
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※16/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、一時払保険料を記載しております。

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

			2017年9月期		17年3月期	16年9月期
				16/9期比		
平準払商品	新契約件数	(件)	569	78.3%減	3,292	2,624
	金額(収入保険料)	(百万円)	37	96.1%減	1,028	969

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※平準払商品は無配当収入保障保険、無配当特定疾病収入保障保険、無配当特別終身保険、無配当終身医療保険の合計であります。

※16/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、1年分の保険料に相当する金額を記載しております。

その他質問項目（2017年9月）

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2017年9月期	17年3月期	16年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 13	△ 44	△ 13

※戻入額については△で表示しております。

以上